

県政と皆様を結ぶ情報誌



# 県政報告

vol.4

2020.1月発行



愛知県議会議員

# 神谷まさひろ

皆様には健やかに新春をお迎えのことと存じます。昨年は大変お世話になり誠にありがとうございました。「日記形式での県政報告」第4弾をお届け致します。今回は昨年の12月定例愛知県議会の内容を中心に掲載してあります。ぜひご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



1月24日で退任された川口副市長さんとがっちり握手。長年に亘り刈谷市の発展のためにご尽力頂いたことに心から敬意を表します。



## 11.18 月 技能五輪全国大会閉会式に来賓として出席

**国** 際展示場(Aich Sky Expo)で行われた天皇陛下御即位記念技能五輪全国大会の閉会式に来賓として出席しました。

この大会は11月15日(金)に全国アビリンピックと合同開会式が行われ、昨日はアビリンピックの閉会式が行われました。つまり3回出席のチャンスがあったのですが、過去2回は他の予定と重なったため、今日やっと技能五輪全国大会の閉会式に出席することが叶ったのです。

自動車産業が集積するこの地域では、技能五輪というと機械組立て、機械製図、旋盤というイメージですが、実際には競技種目は42職種、全国から参加した今回の選手団も約1200名と多岐に渡っています。愛知県勢は12人が金賞を獲得し、15年連続で最優秀技能選手団賞に選ばれました。またアビリンピックでも4人が金賞を獲得するなどメダル獲得数で2年連続全国1位となりました。

この全国大会は来年も愛知での連続開催が決まっています。そして先日、国際大会の誘致において、愛知県はフランスのリヨンに敗れましたが、再び立候補する意向を持っているようです。次は式典だけではなく、実際の競技における巧みの技を観戦してみたいと思います。



# 11.24 環境をテーマに[Let'sエコアクション in AICHI]を開催

**刈** 谷駅南口みなくる広場や刈谷市総合文化センターでは環境をテーマにしたイベント『Let'sエコアクション in AICHI』が開催されました。「つなげよう!SDGsへ そのアクション」のサブテーマの通りSDGsについて学ぶカードゲームや、間伐材を使ったネームプレートの作成などのブース出展の他、仮面ライダーゼロワンショーなどの子供向けイベントも行われていました。

また、過日募集をしていた[エコキャラ(エコアクションを題材としたマスコットキャラクター)]の優秀作品表彰式も行われました。この企画には334作品の応募があり、愛知県知事賞には富士松東小学校6年生の倉地永さんの作品「エコキャン」、刈谷市長賞には雁が音中学校2年生の三浦音愛さんの作品「エコりん」を始め優秀作品14作品が決定をしました。

ところで、今回のサブテーマにもある「SDGs」について、少しだけ解説しておきたいと思います。



最近、新聞やテレビの中でよく聞くようになった「SDGs(エスディーゼズ)」という言葉。学校の授業や仕事を通じてSDGsを知った、という人も多いのではないのでしょうか。とはいえ日本でのSDGs認知度は30%ほどとまだまだ低いのが現状です。

「SDGs(エスディーゼズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、「誰も置き去りにしない」という基本理念の下、2030年までに達成を目指す世界共通の目標として、17のゴールと169のターゲットを設定。2015年9月に国連で開かれたサミットの中で採択され、地方公共団体や企業などでも協力・連携が求められているのです。

そして、内閣府はSDGsの理念に沿った基本的・総合的取組みを推進しようとする都市・地域の中から、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を「SDGs未来都市」として選定し支援しており、愛知県も本年7月1日に選定されたのです。

現在愛知県では知事を本部長とする庁内組織「愛知県SDGs推進本部」を設置して、県民一人ひとりがSDGsに対する認識を深め、行動につなげてもらうための普及啓発や、SDGsの理念を具現化する取組みを全庁挙げて推進しているところなのです。

# 12.3 12月定例愛知県議会 開会

**12** 月定例愛知県議会が本日から12月20日までの日程で開会しました。諸般の報告・会期の決定の後、先の9月定例会において新たに教育委員に選任された塩谷育代氏から就任の挨拶がありました。

「塩谷育代さん」・・・ふうむ! どこかで聞いたことのある名前だ、と思われる方もあるかもしれませんが、そうです女子プロゴルファーの塩谷さんなのです。塩谷氏は名古屋市立桜台高校を1981年に卒業。翌年プロテストに合格し、92年と95年には女子プロゴルフの年間賞金ランキング1位に輝き、通算優勝回数も20回と素晴らしい戦績を残しておられます。愛知県がプロスポーツ選手を教育委員に選ぶのは初めてのことです。県の教育行政にスポーツマンらしい爽やかな新風を吹き込んで下さることを期待しています。



その後、大村知事から全ての議案の提案理由説明がありました。項目ごとのタイトルだけを紹介すると・・・

- ①最近の経済情勢と来年度の予算編成
- ②愛知スタートアップ戦略の推進
- ③知の拠点あいち重点研究プロジェクト
- ④豚コレラへの対応
- ⑤特別支援教育の充実
- ⑥中部圏知事会議
- ⑦国の施策・取組に対する要請
- ⑧FIA世界ラリー選手権ラリージャパン
- ⑨自動運転実証実験
- ⑩あいち技能五輪・アビリンピック2019
- ⑪中国の大学との覚書締結
- ⑫働き方改革の推進
- ⑬G20愛知・名古屋外務大臣会合
- ⑭中部国際空港の機能強化
- ⑮新時代に対応した工業高校の魅力向上
- ⑯愛知県学術顕彰
- ⑰交通安全対策の推進

そして最後に議員提出による「交通死亡事故の根絶についての決議(案)」を全会一致で可決をして、本日は散会となりました。

ここで先の17項目の中から3項目について少し詳しく説明をします。

## ⑤[特別支援教育の充実]について

◎10月25日に瀬戸つばき特別支援学校の開校記念式典を開催した。251人の児童生徒が通学しており、春日台特別支援学校と三好特別支援学校の過大化による教室不足や長時間通学が解消した。



◎来年4月には県立福江高等学校の施設を利用して、知的障害のある高等部の生徒を対象とした豊橋特別支援学校の分教室として「潮風教室」を開設予定。

◎西尾市で本県初となる知的障害と肢体不自由の児童生徒に対応した特別支援学校を新設する。



安城特別支援学校のマンモス化解消に

## ⑧[FIA世界ラリー選手権ラリージャパン]について

◎2020年のFIA世界ラリー選手権の愛知・岐阜開催が決定し、テストイベントとして11月9日・10日に愛・地球博記念公園を中心に「セントラルラリー」が開催された。

◎7つの観戦ポイントが設けられ34台のラリーカーによるタイムアタックの迫力を約4万人が観戦。

◎来年11月のラリージャパンは最終戦の予定であり、年間世界チャンピオンの決定が見込まれる大一番のラウンドとなる。今回のテストイベントの成果を生かしながら、今後、日本を代表するモータースポーツの中心地として世界に大きくアピールする大会になるようしっかり取り組んで行く。

## ⑭[中部国際空港の機能強化]について

◎11月26日に赤羽国土交通大臣、自民党の二階幹事長、公明党の斉藤幹事長を始め関係方面に中部国際空港の二本目滑走路を始めとする機能強化の早期実現を要請。

◎中部国際空港は本年度上半期の航空旅客数は699万人、発着回数5万9千回で、過去最高を更新する勢いで推移している。

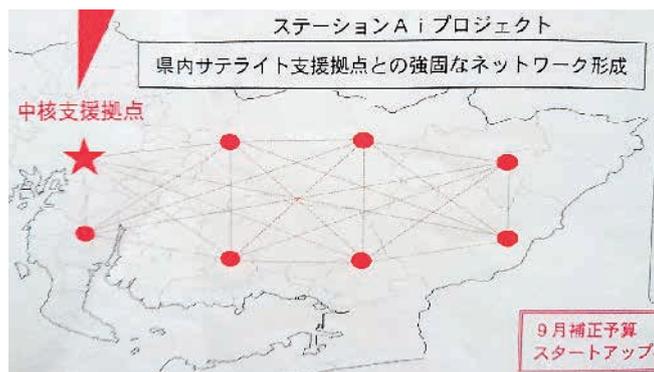
◎地元自治体、経済団体と緊密に連携をして二本目滑走路の早期実現に向けてしっかりと取り組んでいく。



# 12.6 金 一般質問 スタートアップのサテライト支援拠点

愛

知県12月定例議会一般質問が行われ7名の議員が登壇しました。その中で二人の議員より、現在県が進めている[スタートアップ支援について]質問がありました。



新市場を開拓するスタートアップ企業を支援するために、鶴舞公園南側にある勤労会館跡地に拠点施設である[ステーションAi(アイ)]を整備する計画があります。そしてこの中核施設である[ステーションAi(アイ)]の整備に加えて、県内各地域に様々なテーマ・分野に特化したサテライト支援拠点も整備する予定になっています。そしてその整備候補地については「現在、県がヒアリング調査等により市町村などに意向を確認しているところ」とのことでありました。

ものづくりを支える自動車産業のまち刈谷市としては当然、サテライト支援拠点を整備すべきだと思うのですが、刈谷市の意向はどうなっているのか・・・100年に一度という大変革期を迎えている自動車産業、だからこそスタートアップ企業を起爆剤として、新たなイノベーションに早急に取り組む必要があるのだと思います。

## 12.11 木 福祉医療委員会で【食品衛生協会について】発言

**私**が所属します福祉医療委員会が行われました。補正予算としては「あいちオレンジタウン構想にかかる次期アクションプランの策定調査費・若年性認知症実態調査費」の債務負担行為約1500万円。次期アクションプランの計画期間は2021年度から2023年度までの3年間、2020年の12月に策定を予定しています。議案の中には[無料定額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について]という議案もあります。これは昨今問題となっている貧困ビジネスに対応するため、都道府県は無料定額宿泊所の設備及び運営に関する基準を条例で定めることになったため制定するものです。

議案審査の後一般質問が行われ、私も「食品衛生協会について」質問をしました。これは、食品衛生協会の加入率が低下しているのではないかとの問題意識からです。実際、愛知県全体の加入率では2014年は76.2%であったものが、2019年には67.1%に低下しています。また、愛知県内には24支部ありますが、そのバラつきも大きく最も加入率の高いところは85.4%ありますが、逆に最も低いところは49.8%しかありません。

食品衛生協会は飲食店等の食品関係事業者の衛生管理の普及向上を図り、県民の食生活の安全・安心を確保することを目的に、食品衛生思想の普及活動、食品衛生責任者の養成、食品衛生センターでの検査、食品衛生指導員活動、共済事業等を行っていると言われています。これらを行うことにより食の安全・安心が保たれているのであれば、協会の加入率が低下してこれらの事業に触れる(参加する)食品事業者が減れば、それは食の安全・安心が脅かされているとも言えるのではないかと思います。

協会に加入するメリットを作り出したり、保健所からも協会加入の働きかけをして頂くなど、加入率向上に向けて保健所としても対応して欲しい旨を要望しました。



## 12.20 火 12月定例愛知県議会の最終日

**今**日は令和元年12月定例愛知県議会の最終日です。委員会に付託された議案について各常任委員長から委員会審査の報告が行われた後、一括簡易採決の結果32件の議案全てが可決しました。その後、6件の意見書案についての審議が行われこちらも全て可決しました。

また、今回の12月議会では次の3件の請願が提出されていました。

- 請願1 令和2年度愛知県私学振興予算の充実について
- 請願2 令和2年度愛知県私立幼稚園関係予算の充実について
- 請願3 『教育の公平』をめざして、学費と教育条件の公私格差を抜本的に是正するために、私学助成の拡充をもとめるについて



今日は傍聴席がほぼ満席と思えるほど大勢の方が傍聴に来られていました。たぶんこれらの請願の関係者ではないかと思われます。そうした方々が見守る中でこの3件の請願も全員一致で採択となりました。

閉会後は恒例の全員起立した状態での閉会式、議長と大村知事による挨拶が行われました。大村知事は来年の聖火リレーのことや、自ら選ばれた今年を示す漢字「望」について触れられましたが、明るい話題であるオリンピックの行われる来年、皆さんにとって希望の持てる明るい一年になることを願っています！

